



エバル-フ

やまなみ

大波スレートカバー工法

今のスレート屋根をそのままに…
簡単リフォーム工法があります。



日鉄住金鋼板

老朽化したスレート屋根を、 簡単な工法で、より美しく。

古くなった工場や倉庫のスレート屋根は、今も大丈夫ですか？

劣化による雨漏りや、アスベストの飛散等の不安は解消されていますか？

日鉄住金鋼板の『エバールフやまなみ』は、そうした問題を一挙に解決。

現状の大波スレートを撤去しないため廃棄物を出すことなく、

ごく簡単な工法で、美しい屋根に生まれ変わります。

美観はもちろん、環境保全や周辺住民への配慮といった企業イメージのアップにも役立つ、

リフォームに最適な屋根材として、今、注目を集めています。

工場で、倉庫で…さまざまな場所で、
すでに好評をいただいています。



ナミテイ株式会社



キンキサイン株式会社



鉄板大波の改修



株式会社西井水産



注目されています!
エパールーフやまなみ
間接固定工法

注目
1
簡単!

下地となるサドルを、
既存ボルトにワンタッチで取り付け。
作業が簡単、スピーディー!

サドル工法

『エパールーフやまなみ』の間接固定工法なら、現状のスレート屋根に使われている既存のフックボルトに、下地となるサドルを、ワンタッチで取り付け。ハンマー等の工具や機械を使うこともないので、リフォームの工程を大幅に短縮することができます。



**古くなくても、強さはそのまま。
数々の実験に裏付けられた
既存ボルトの強度。**

フックボルトは数十年経過して表面が錆び付いたものでも、一定の強度を保持。公的機関における疲労試験（30年相当）や、当社の引張試験でも300kgf/本以上を確認しており、台風時の強風や長期にわたる風の影響にも十分に対応できる、高い耐久性を保持しています。



サドル工法が適用できない場合

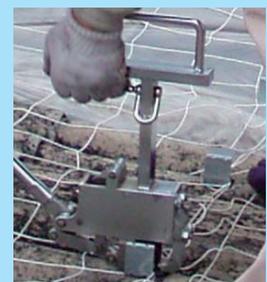
スライドイン工法

安心!

下地となる金具を、既存ボルトの締結ナット（座金）とスレート間に挿入。極端に腐食したボルトに対しても安心して使用できます。

クリーン

専用工具を使用することで、金具挿入時の落下物の低減、スレートの破損・騒音の防止ができます。



る、エバールーフやまなみのココに注目！



既存の大波スレートを撤去しないから、
工事中も操業が可能。

間接固定工法は、既存の大波スレートを傷つけることなくカバーできる工法です。穴をあけることもなく、リフォームできます。社会問題になっている産業廃棄物を出すことがなく、アスベストなどの飛散の問題にも対応できます。また、屋根を撤去しないので、リフォーム工事の間も、そのまま操業することができます。



屋根の工事中も操業が可能です。



リフォームするだけで
断熱性が向上。

空調にかかるコストが削減できます。

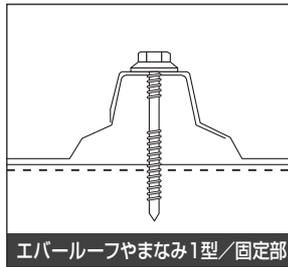
間接固定工法では、現在の屋根とエバールーフやまなみの間に空気層ができるため、建物自体の断熱性が向上。さらに、断熱材を敷き込むことで断熱効果をアップさせることが可能なので、これまで冷暖房にかかっていたランニングコストが大幅に削減できます。



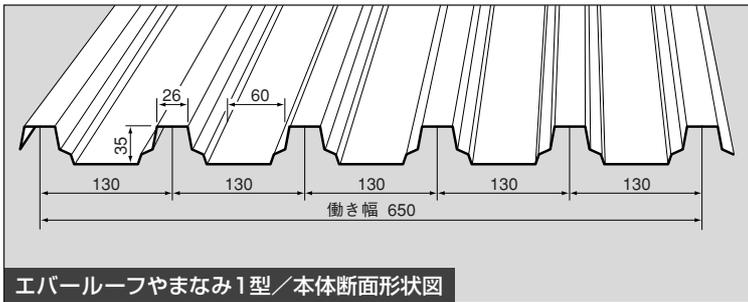
品 種

エバールフ[®]
やまなみ1型

カバールーフの定番。
ガルバリウム鋼板を
原板とした、
信頼の屋根材です。



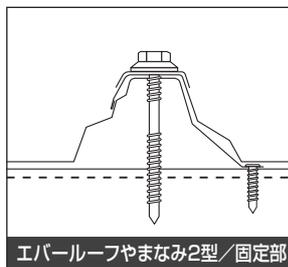
エバールフやまなみ1型/固定部



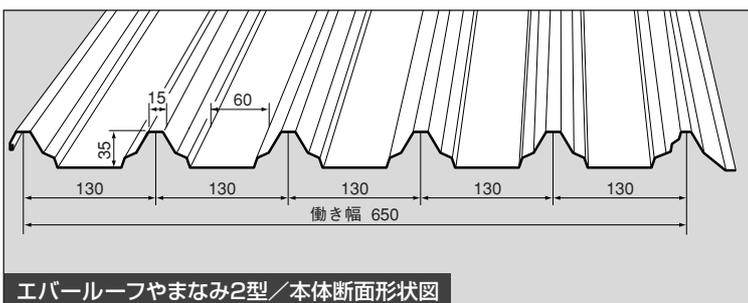
エバールフやまなみ1型/本体断面形状図

エバールフ[®]
やまなみ2型

1型の嵌合部分に
改良を加えたタイプ。
葺替えにも対応しやすい、
安心の屋根材です。



エバールフやまなみ2型/固定部



エバールフやまなみ2型/本体断面形状図

工 法

● **間接固定工法**

特 長

- 既存大波スレートを撤去しない。
- 既存大波スレートをキズつけない。
- アスベストを含む粉塵を極限まで低減。
- 工事中でも営業・操業が可能。
- 既存フックボルトの切断不要。
- 既存フックボルトを利用した工法。
- 断熱性が向上。

留 意 点

- 多雪地域には使用できません。
- スライドイン工法は専用工具を用いての施工となります。

※間接固定工法については2種類の工法をご用意しています。通常の場合はサドル工法をご使用ください。但し、塩害等の影響でフックボルトの屋根上の軸が著しく減耗しサドルを取り付けることができない場合はスライドイン工法をご使用ください。

● **直接固定工法**

特 長

- 既存大波スレートを撤去しない。
- 既存大波スレートになじみが良い多面折形状。

● **葺 替 え**

特 長

- 既存大波スレートに比べ、水密性が向上。
- 屋根が軽量になり、耐震性に有利。

留 意 点

- 既存大波スレートの解体・撤去・廃棄処分は、法規制に従い適切な対応が必要です。

エーションから、最適な工法が選べます。

通常の場合

～サドル工法～

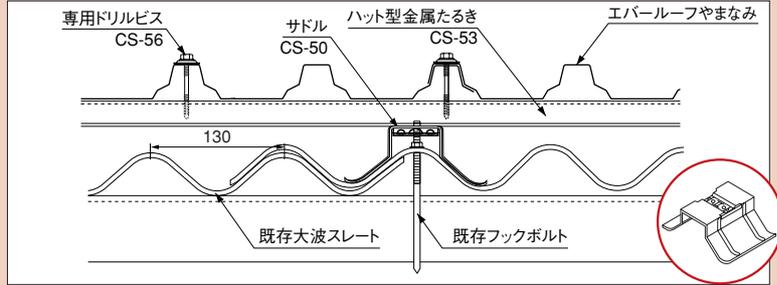
特長

- 既存フックボルト間隔がばらついた屋根面でも施工可能。
- 凸凹のある屋根面の影響を受けない。
- サドル工法では雪止め金具の設置が可能です。ご相談ください。

用途

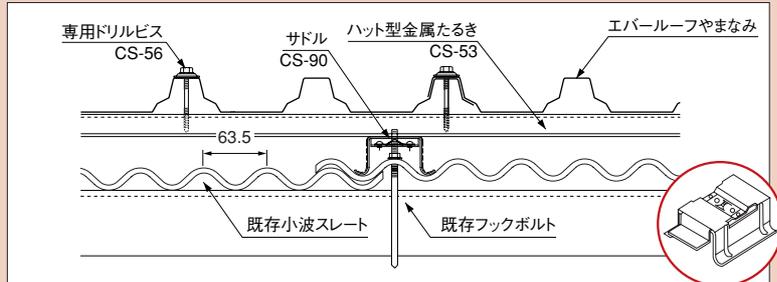
- 食品・精密関連などの工場・倉庫。
- 大規模・中層建物に最適。

大波スレート



サドル工法
大波用金具

小波スレート



サドル工法
小波用金具

サドルが取り付けられない場合

～スライドイン工法～

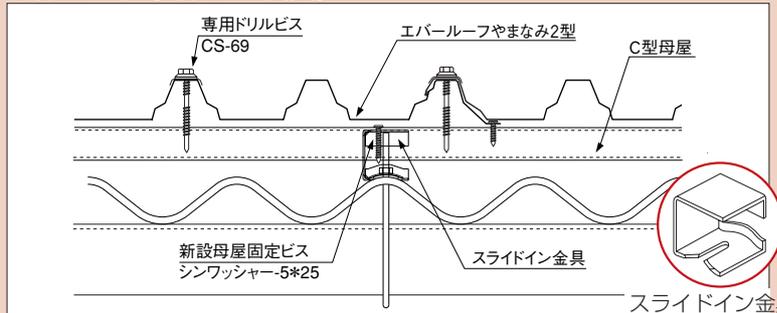
特長

- フックボルトの劣化状況に左右されない。

用途

- 食品・精密関連などの工場・倉庫。
- 中・小規模建物に最適。

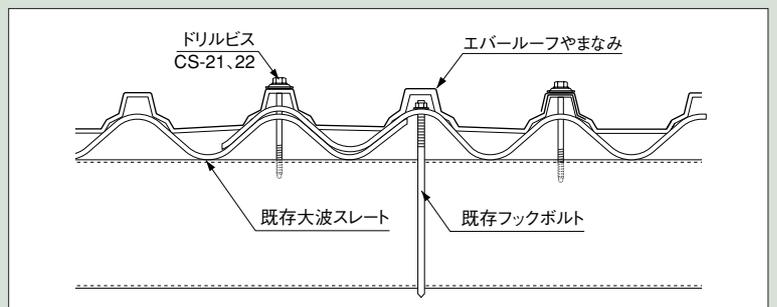
大波スレート・小波スレート兼用



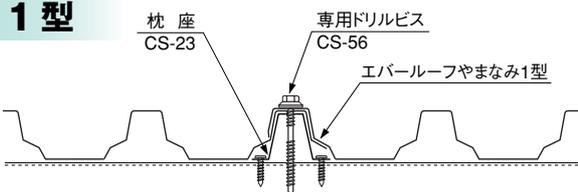
スライドイン金具

留意点

- ビス貫通時に発生する粉塵対策として、室内立入禁止・アスベスト安全対策・室内清掃が必要です。



1型



2型

